

みかわ
美川地区
(石川県白山市)

- 計 画 期 間 平成 25 年度～平成 27 年度
- 面 積 80.6ha
- 交付対象事業費 355.8百万円
- 市人口 112,830人

ポイント 中心市街地の公益拠点施設の再生・再構築と地域コミュニティの拠点施設整備

地区概要 情報発信・地域コミュニティの拠点施設等の整備により地区内の賑わい創出・地域活力の向上を図り、歴史・文化・伝統・産業が新たな世代へ継承される持続可能なまちづくりを推進する。

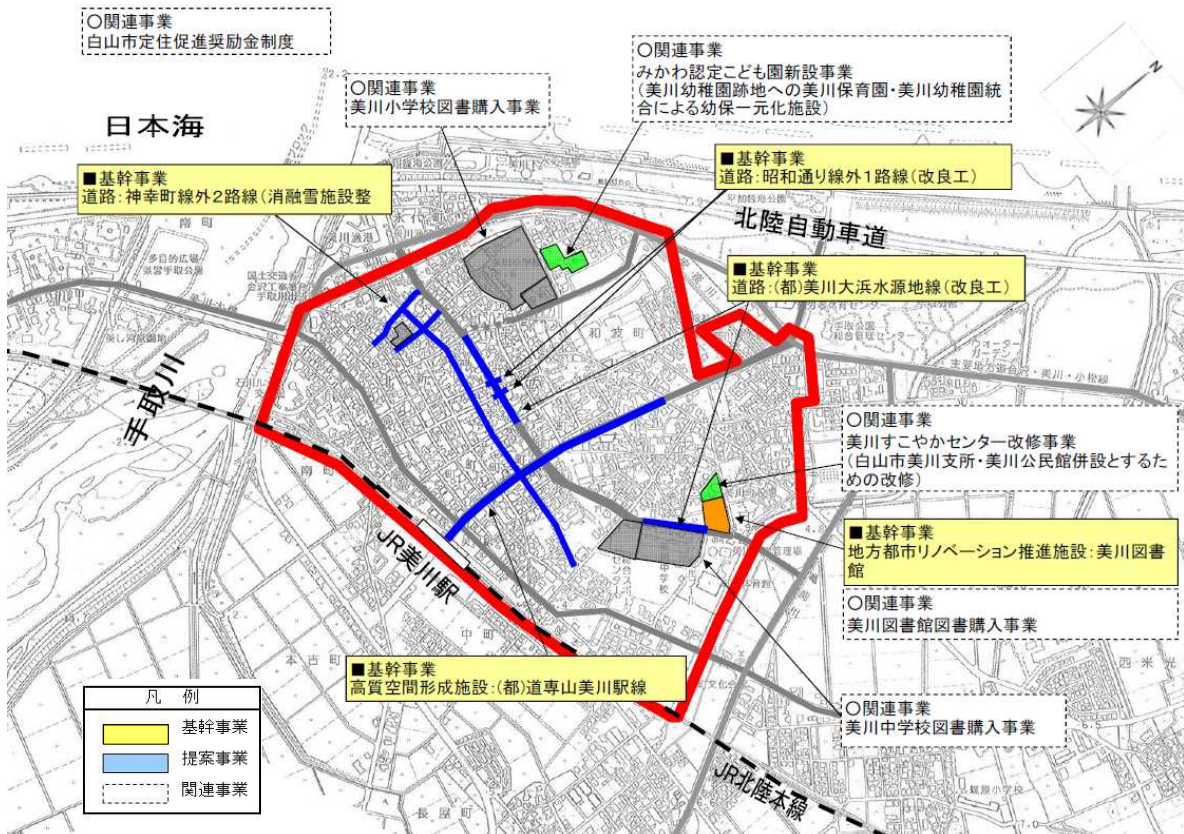
目 標 美川地域の中心市街地であるJR美川駅周辺において、地区内の低未利用地を活用した公共公益施設の再生・再構築を進め、地域コミュニティの拠点施設整備と併せ各種地域団体との連携した活動を行うことにより、子どもたちの郷土愛を醸成し、地域活力の向上と伝統文化の継承に繋げるとともに、集約型都市構造の実現を目指す。

指 標

郷土への関心やふるさと学習の場の提供を図るための指標として、美川図書館の利用者数、ボランティア団体活動回数を設定し、地区内への定住促進を図るための指標として、市定住促進支援事業申請者数を設定した。

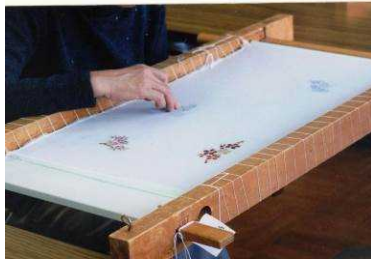
| | 従前値 | 目標値 | 評価値 |
|-------------------|--------------|----------------|----------------|
| 美川図書館利用者数(人/年) | 32,400 (H24) | → 50,000 (H27) | → 61,000 (H27) |
| ボランティア団体活動回数(回/年) | 12 (H24) | → 20 (H27) | → 21 (H27) |
| 定住促進支援事業申請者数(人/年) | 0 (H24) | → 2 (H27) | → 5 (H27) |

事業内容 基幹事業 (355.8 百万円) → 地方都市リノベーション推進施設 (1 箇所、4,315 m²)、道路 (幅員 4.5～19.0m、延長 1,600m)、高質空間形成施設 (歩道カラー舗装、幅員 2.5m×2、延長 950m)



地区の現況と課題

JR美川駅周辺の中心市街地である本地区は、室町時代から北前船の寄港地として栄え、「おかえり祭り」等貴重な街並みや文化・伝統工芸などが数多く存在している。しかし、近年、少子高齢化の進展などにより地域活力が衰退し、伝統文化がその担い手とともに失われつつある状況にあった。また、支所跡地活用や、老朽化が進む公共公益施設の集約移転や拡充整備が望まれていた。支所跡地への図書館建設や、隣接する保健センターへの支所、公民館機能の集約などにより、地域コミュニティ拠点としての利便性が向上し、施設相互利用の活発化、若年層の居住者数増加や地域ボランティア団体の活動促進に繋がっている。



▲ 美川の伝統産業（美川仏壇、美川刺繍）



▲ おかえり祭り

計画策定プロセス

継続的なまちづくり

旧美川町では、平成5年度より地域固有の住宅整備計画である「HOPE計画」に取り組み、平成12年度には「美川町中心市街地活性化基本計画」を策定し、本地区の活性化を進めてきた。これらを踏まえ、平成15年度からは、おかえり祭りに息づく北前船文化などの「歴史・伝統文化を生かした住環境づくり」を整備方針とした「まちづくり総合支援事業（H15～H19）」を実施し、伝統文化を継承する空間や歴史的拠点、散策回廊道路の整備等により地区のポテンシャルアップを図ってきた。その後、平成17年の市町村合併に伴い、役場機能の地区外移転や少子高齢化の進展などの影響による地域の人口減少や、地場産業やコミュニティの衰退危機が高まり、本計画を策定した。

図書館を考える会の設置

新たな美川図書館を考えるにあたり、平成21年に「『これからの図書館』を考える会」を設置し、施設配置や業務運営、利用者サービスについて検討協議した。さらに、平成25年には「美川図書館を考える会」を開催し、集約した意見を施設配置計画等に反映させた。



▲ 五十鈴通り



▲ 浜町おかえり公園



▲ 新 美川図書館